

膵臓・胆のうドックのご案内

膵臓がんは発見が難しい病気です

国立がん研究センターの統計では、膵臓がんは日本人のがん死亡率の第4位を占める恐ろしい病気です。膵臓は非常に薄い臓器のため小さく、周囲の臓器や神経に浸潤しやすく、症状が出現したときには既に進行がんとなっているため手術不能の状態となっていることが多いことから、小さな早期のがんを見つける事が根治には欠かせません。胆のうがんや胆管がんも膵臓がんと同様に難治性がんといわれ、早期に発見することが大切です。

膵臓・胆のう・胆管と関係した疾患の拾い上げのために適切な検査を行います。

当ドックでは、膵臓・胆のう・胆管疾患の発見に有用とされている非侵襲的な検査である画像診断、つまりエコー検査とMRI（MRCP検査）を行い、さらに腫瘍マーカーを含めた血液検査を合わせて総合的に診断し、早期がんの拾い上げを行います。

検査・診断には膵臓・胆のう・胆管疾患に精通した 内科医師、診療放射線技師が行います。

当ドックエコー検査、MRI検査は膵臓・胆のう・胆管疾患に精通した放射線技師が行い、さらに総合的な診断を膵臓・胆のう専門の内科医師が行います。

検査の内容

- ◆ 血液検査（腫瘍マーカー含む14項目）
- ◆ 超音波検査
- ◆ MRI（MRCP）検査
- ◆ 専門医による診察・結果説明

料金

25,000円（税別）

実施日

■ 毎週月・火・木曜日
14:15～16:00

- ※都合により変更となる場合あり
- ※一部の結果は後日お知らせとなります
- ※完全予約制（1日1名）
- ※検査時間60分程度

心臓ペースメーカーや埋込式除細動
脳動脈クリッピング術後
閉所恐怖症の方は
検査が受けられない可能性があります。
必ず予約時にご確認ください。

超音波画像



MRCP画像



ご予約・お問い合わせは
遠軽厚生病院 健康推進課 人間ドック予約係
0158-42-4101 内線3489